

お手入れのしかた

お手入れを始める前に必ず電源を切ってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

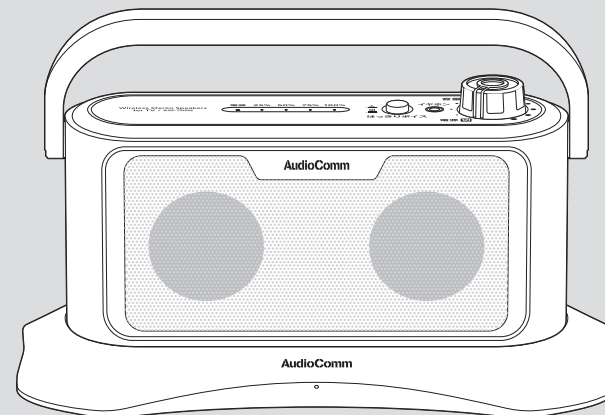
製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

耳もとスピーカー 充電クレードル式

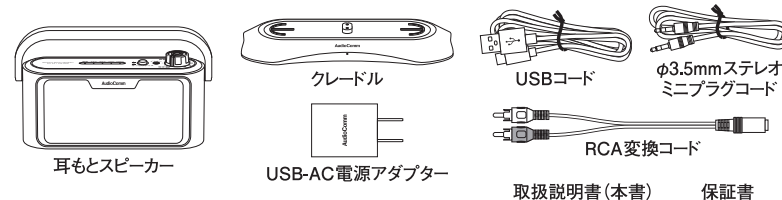
型番：ASP-705N 品番：03-2076



このたびは、AudioComm® 耳もとスピーカー 充電クレードル式をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

本商品には以下の内容が含まれています。使い始める前にご確認ください。



目次

免責事項	1	耳もとスピーカーの充電方法	7
充電式電池について	1	使いかた	7~8
安全上のご注意	1~3	故障かなと思ったら	9
電波(無線機能)に関する注意事項	4	主な仕様	10
各部の名称	5	お手入れのしかた	裏表紙
接続のしかた	6	保証書とアフターサービスについて	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムイオン電池：耳もとスピーカーに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

危険 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



禁止

- 充電式電池(リチウムイオン電池)が液もれしたときは、素手で触らない
- 本製品の耳もとスピーカーには充電式電池が内蔵されています。万一、液もれているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
 - 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
 - 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。



警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



22cm以上離す

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す
- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



接触禁止

- 雷が鳴り始めたら、安全のため耳もとスピーカー、クレードル及びUSBコードに触れない
- 感電するおそれがあります。



使用を中止する

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源を切り、使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。



分解禁止

- 分解、修理、改造しない
- 火災・感電の原因となります。



水かけ禁止

- 水のかかる場所や湿気のある場所で使わない
- 感電や故障の原因となります。







禁止

- 医療機器の近くや航空機内で使わない
- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
- 本機(耳もとスピーカー及びクレードル)やUSBコードの上に重いものをのせない
- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。
- USBコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- コードが破損して火災・感電の原因となります。
- 付属のUSBコード及びUSB-AC電源アダプター以外では充電しない
- 火災や感電、機器の故障の原因となります。
- 自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
- 高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

- 火の中に入れていない
- 誤って火中に入ると、充電式電池が発熱、破裂、発火するおそれがあります。

安全上のご注意(つづき)

 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。
 音量に注意	音量を上げすぎない ●大きな音量で長時間続けて聴くと、周囲の迷惑になったり、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●故障の原因となります。 USBコードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。 キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない ●内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。 自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。 シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。 USBコードの端子を抜くときは、コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず端子部を持って抜いてください。 耳もととスピーカー及びクレードルの充電端子部に金属などを当てない ●ショートして感電や故障のおそれがあります。 日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売されたBluetooth機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

電波(無線機能)に関する注意事項

【機器認定について】

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に印字してある定格表示を消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本製品は日本国内でのみ使用できます。



【使用周波数と注意事項】

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、Bluetooth機器を含む特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに送信機及びスピーカー(受信機)の電源を切ってください。そのうえでお客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明点がございましたら、当社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

【通信可能範囲について】

送信機とスピーカー(受信機)の最大通信距離は約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無などによって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

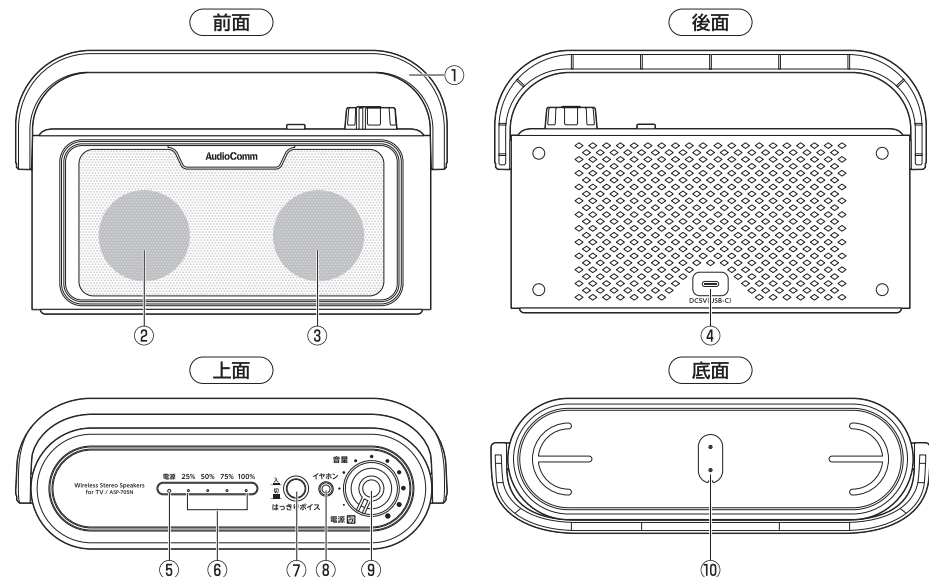
※本製品を複数同時に使用することはできません(混信する可能性があります)。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

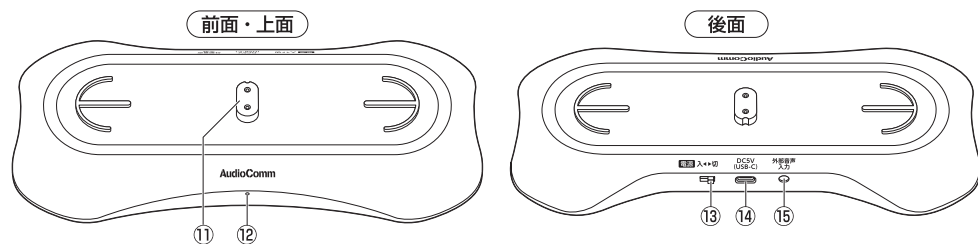
- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

各部の名称

耳もととスピーカー



クレードル 充電・送信器

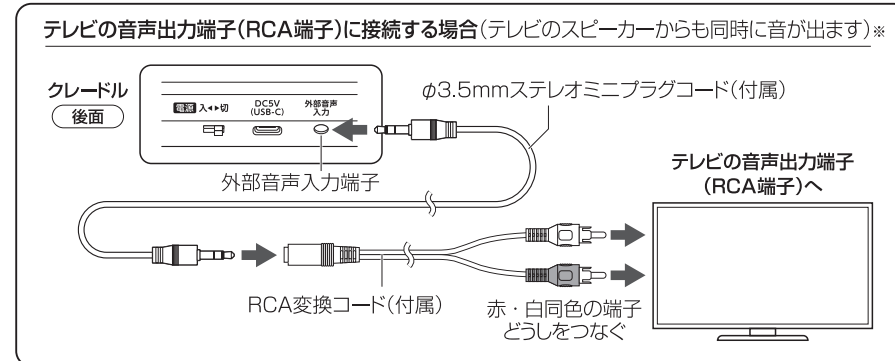
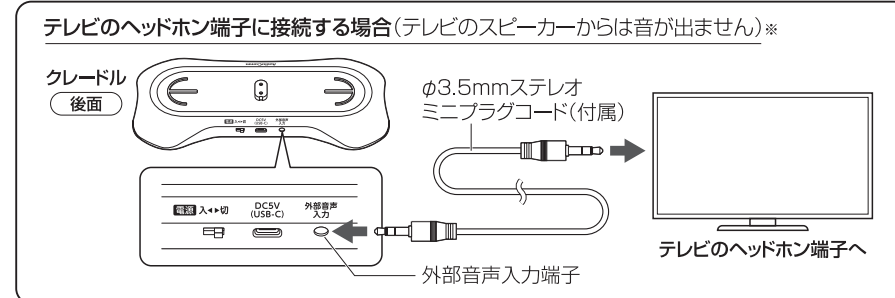


- ① キャリーハンドル
- ② 左スピーカー
- ③ 右スピーカー
- ④ USBポート (Type-C)
- ⑤ 電源ランプ (青)
- ⑥ 充電レベルインジケーター
- ⑦ はっきりボイスボタン
- ⑧ イヤホンジャック
- ⑨ 電源 / 音量ツマミ
- ⑩ 充電端子 (入力)
- ⑪ 充電端子 (出力)
- ⑫ 電源ランプ (赤)
- ⑬ 電源スイッチ
- ⑭ USBポート (Type-C)
- ⑮ 外部音声入力端子

接続のしかた

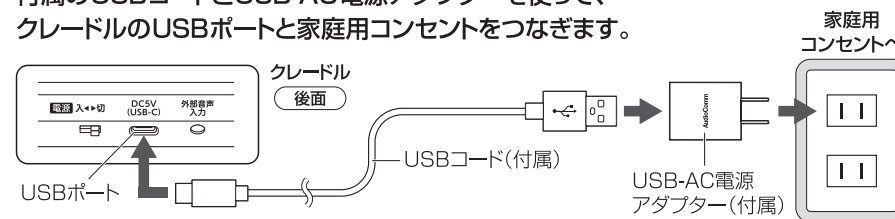
接続を始める前に、クレードルの電源スイッチが切れていることを確かめてください。

1 以下のいずれかの方法で接続してください。



※多くのテレビは、
 ・ヘッドホン端子接続時は、内蔵スピーカーからは音が出ない設定
 ・音声出力端子 (RCA端子) 接続時は、内蔵スピーカーからも音が出る設定
 になっていますが、機種によっては個別に内蔵スピーカーからの音声出力 (オンまたはオフ) を切り換えることができるものがあります。詳しくはテレビ付属の取扱説明書などをご参照ください。

2 付属のUSBコードとUSB-AC電源アダプターを使って、クレードルのUSBポートと家庭用コンセントをつなぎます。



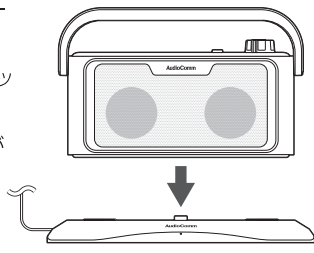
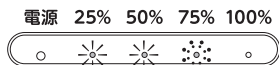
ヒントとご注意

- 接続の際は必ず付属のUSBコードとUSB-AC電源アダプターをお使いください。また、付属のUSBコードとUSB-AC電源アダプターは他の製品に使わないでください。
- 本機はモバイルバッテリーなどに接続して使うことも可能ですが、バッテリー残量の減少により、音声が不安定になることがあります。できるかぎり家庭用コンセントでの使用をおすすめします。

耳もとスピーカーの充電方法

クレードルが電源と正しく接続されているときは、耳もとスピーカーをクレードルに載せると自動で充電が始まります。

- クレードル、耳もとスピーカー双方の充電端子の向きを確かめ、確実にセットしてください。
- クレードルの電源スイッチが切れていても、電源と接続中であれば充電が可能です。
- 充電レベルインジケータの点滅により、充電レベルがわかります。



ヒントとご注意

- 耳もとスピーカー後面のUSBポートと家庭用コンセントを、USB-AC電源アダプター(付属)を介して付属のUSBコードでつなぐ方法でも、耳もとスピーカーの充電が可能です。
- フル充電になっても充電レベルインジケータは消えません。また、クレードルにて充電中、フル充電になっても100%のランプが点滅し続けることがありますが、故障ではありません。
- クレードルから取り外したときやUSBコードを抜いたときは、約35秒後に充電レベルインジケータが消灯します。
- 耳もとスピーカーを使用中は、充電レベルの表示や残量が僅少になったときの警告表示はありません。使用後は必ずクレードルに戻すなどして電池切れを防いでください。

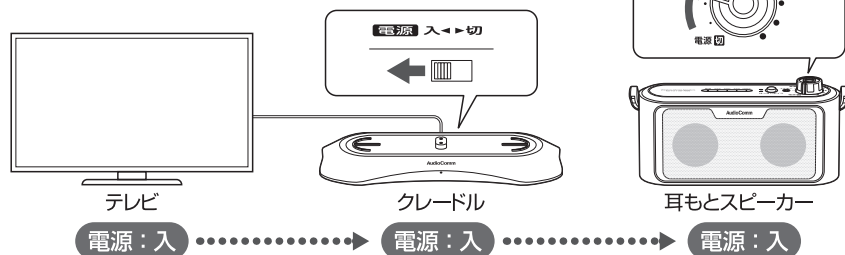
使いかた

P.6を参照してテレビと正しく接続し、耳もとスピーカーを十分に充電してから、以下のように操作してください。

1

テレビ→クレードル→耳もとスピーカーの順で電源を入れます。

- クレードルの電源を入ると、電源ランプ(赤)が最初ゆっくり点滅し、すぐに速い点滅に変わります。
- 耳もとスピーカーの電源を入ると、電源ランプ(青)が点滅します。
- クレードルと耳もとスピーカーは自動接続します。自動接続が完了すると、両者の電源ランプの点滅が点灯に変わります。



2

テレビ及び耳もとスピーカーの音量を調節します。

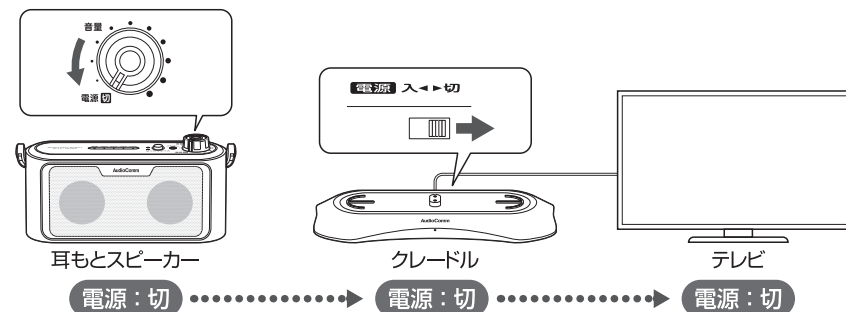
- テレビの音量を適度に上げ、その後、耳もとスピーカー側で聴き取りやすい音量に調節してください(音量の上げすぎにご注意ください)。
- はっきりボイスのボタンを押し込むと、テレビの音声(ドラマなどの会話音声)がクリアになります。もう一度同ボタンを押し込むと、ボタンが上がって解除できます。



3

終了するときは、耳もとスピーカー→クレードル→テレビの順で電源を切ります。

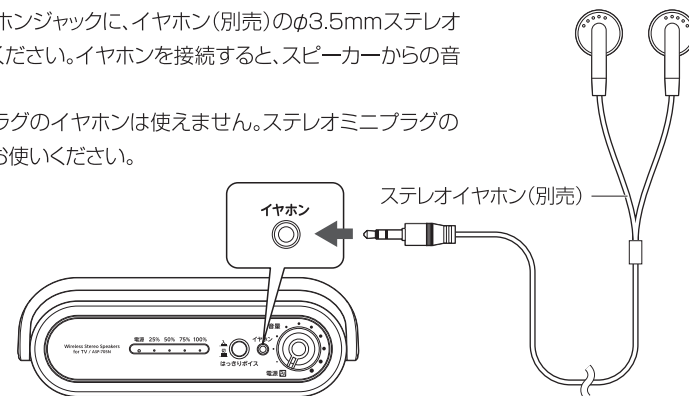
- 耳もとスピーカーの電源/音量ツマミはカチッと音がするまで確実に回してください。
- クレードル及び耳もとスピーカーの電源ランプが消灯したことをご確認ください。



イヤホンで聴くときは

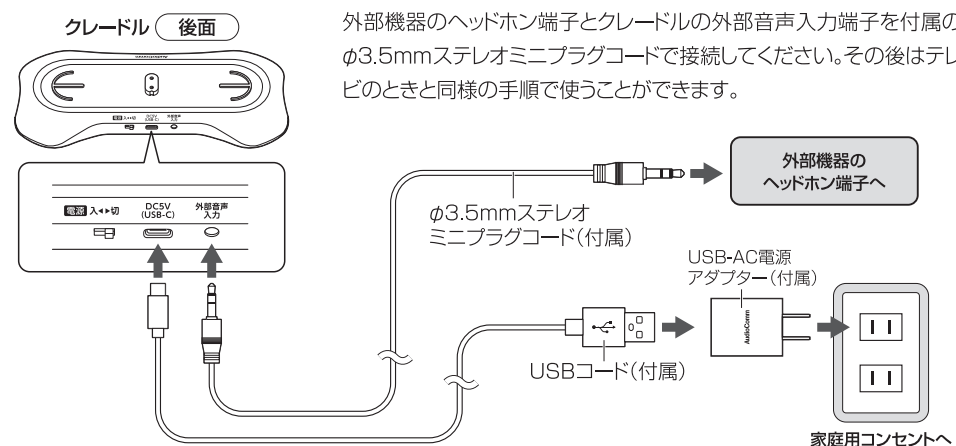
耳もとスピーカーのイヤホンジャックに、イヤホン(別売)のφ3.5mmステレオミニプラグを差し込んでください。イヤホンを接続すると、スピーカーからの音声出力はなくなります。

- モノラルプラグのイヤホンは使えません。ステレオミニプラグのイヤホンをお使いください。



テレビ以外の外部機器と接続するときは

外部機器のヘッドホン端子とクレードルの外部音声入力端子を付属のφ3.5mmステレオミニプラグコードで接続してください。その後はテレビのときと同様の手順で使うことができます。



故障かなと思ったら

症 状		確 認 事 項
耳もとスピーカー	充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ●クレードルが電源につながっていますか。 ●クレードルに正しくセットされていますか。向きが違っていたり、充電端子部に異物が挟まったりしていませんか。
	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源／音量ツマミを回して電源を入れましたか。 ●充電池が消耗していませんか。
	電源ランプの点滅が点灯に変わらない	●クレードルの電源は入っていますか。クレードルの電源が入っているとき、通常は自動接続されますが、正常に戻らない場合は一度両者の電源を切り、しばらく時間を置いて入れ直してみてください。
	音が出ない 音が小さい 雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●クレードルの電源は入っていますか。 ●テレビとクレードルは正しく接続されていますか。テレビによっては、ヘッドホン端子への接続だけでなく、設定メニューなどで音声の出力先をヘッドホンに変更する必要がある機種もあります。テレビ付属の取扱説明書もあわせてご確認ください。 ●テレビの音量が最小または消音になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。 ●クレードルと耳もとスピーカーの距離が離れすぎたり、障害物がありませんか。 ●耳もとスピーカーまたはクレードルの近くで、無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、またはBluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。
クレードル	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●付属のUSBコード及びUSB-AC電源アダプターを使って、家庭用コンセントと正しく接続していますか(プラグがゆるんでいませんか)。 ●電源スイッチを正しく「入」側に合わせましたか。 ●モバイルバッテリーなどを電源にしている場合、充電池が消耗していませんか。
	音が出ない 音が小さい 雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●外部機器とクレードルが正しく接続されていますか(プラグがゆるんでいませんか)。 ●耳もとスピーカー及びクレードルの電源は入っていますか。 ●外部機器側で再生などの操作をしましたか。 ●外部機器の音量が最小または消音になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。 ●クレードルと耳もとスピーカーの距離が離れすぎたり、障害物がありませんか。 ●耳もとスピーカーまたはクレードルの近くで、無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、またはBluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。
テレビ以外の機器との接続時		

※症状全般にわたり、耳もとスピーカー電源の入れ直しによって改善される場合がありますのでお試しください。

主な仕様

●耳もとスピーカー

電源	DC5V 1A(USB-C給電)
内蔵バッテリー	リチウムイオン充電池(3.7V 2000mAh)
実用最大出力	1W×2
スピーカー	口径52mm(4Ω)×2
SN比	≥60dB
再生周波数帯域	100Hz~20kHz
接続端子	USB-C(電源)、金属端子(電源)、φ3.5mmステレオミニジャック(イヤホン)
充電時間	約2.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	約16時間(50%音量)
外形寸法	幅224×高さ106.5×奥行62mm(突起物、キャリアハンドルを除く)
質量	約550g

●クレードル

電源	DC5V 1A(USB-C給電)
給電	DC5V
変調方式	GFSK
送信周波数帯	無線2.4GHz帯
最大通信距離	約10m
接続端子	USB-C(電源)、金属端子(電源)、φ3.5mmステレオミニジャック(外部音声入力)
外形寸法	幅245×高さ25×奥行121mm(突起物を除く)
質量	約167g

●付属品

専用USBコード(約1.2m)、USB-AC電源アダプター、φ3.5mmステレオミニプラグコード(約50cm)、RCA変換コード(φ3.5mmステレオミニプラグ/RCA赤・白端子、約16cm)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、連続使用可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。